

## 講義録

横浜市立大学学術情報センター市民講座『地域通貨の可能性～”ひと”と”まち”の再発見～』

第四回 平成 14 年 11 月 28 日

「地域通貨」現在、そして未来～「アースディマネー」実践報告とITを活用した今後の展開～

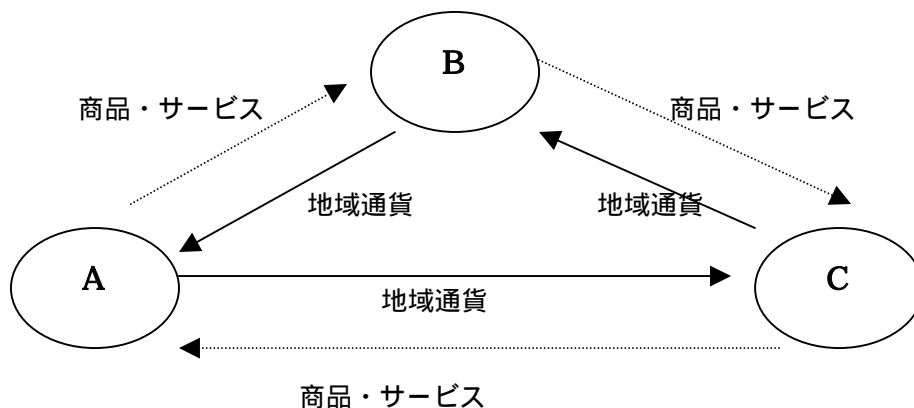
講師：嵯峨生馬先生 (株)日本総合研究所創発戦略センター研究員

### 1. 地域通貨とは？

- お金の機能のうち、価値評価機能と価値交換機能に特化したお金
- 英語では Community Currency と呼ばれ、「コミュニティ独自の価値」を表現し、流通させるために利用されるお金

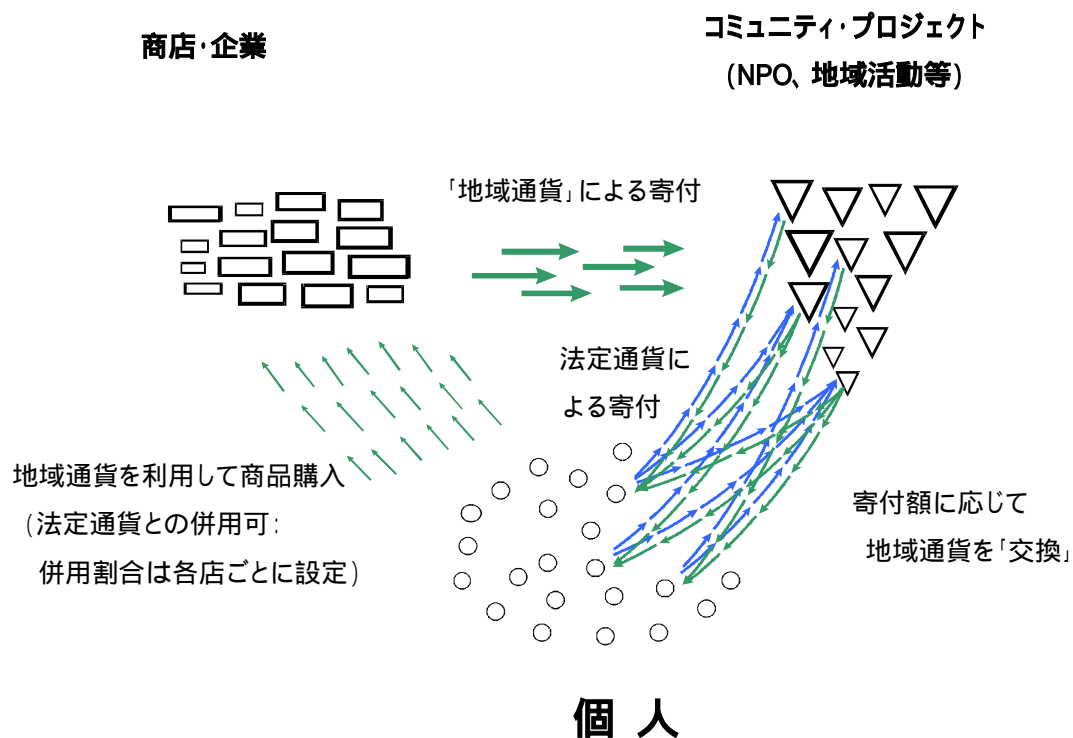
### 2. 地域通貨の仕組み

地域通貨の原型で、世界各地の地域通貨のモデルとなっている LETS の仕組み



- 「二者間における即時取引」であれば、物々交換で解決するため地域通貨は不要
- 「三者以上の主体間における時間差取引」を行う際に地域通貨が必要となる

「コミュニティ・ウェイ」というプロジェクト志向型の新しい地域通貨の仕組み



- NPO は地域貢献活動に対して寄付やボランティアを誘導することができる
- 企業 は現金による寄付よりも容易に NPO 等の活動を支援することができる
- 個人 は地域貢献をすることによって入手した地域通貨を地域での消費に利用できる

### 3. コミュニティ・ウェイを活用した「アースデイマネー」

概要...2001年10月23日より6ヵ月間の実験期間を経て、2002年4月22日より紙幣方式で本格運用。単位は「r」(アール)で、1r = 1円相当。

仕組み...活動への参加(例:「ゴミゼロ運動」に参加したら1時間につき500r)またはNPOへの寄付(例:NPO 渋谷川ルネッサンスに1,000円寄付したら1,000r)に対して発行される。渋谷周辺の参加店で、各店の定める条件で利用できる。

実態...(2002年10月時点)

- 参加商店数 = 35店(カフェ、アパレル、美容室等)
- 参加者数 = 1,500人
- 発行額 = 130万r

ポイント...地域貢献活動と地域の商店のマーケティングを両立できる仕組みである。また、デザインについても重視し、地域のブランディングツールとしても効果的である。

### 4. アースデイマネーの課題

- プロジェクト活動報告のルール化
- NPOの組織体制、運営基盤の確立
- 参加店の拡充と「r」の流通促進
- 都市・農村交流を通じた農業生産物の流通促進

等

(STAFF: 金子 友美 久原 晃子)